

平成29年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	病床機能報告情報収集経費			担当部局庁	医政局		作成責任者			
事業開始年度	平成26年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	地域医療計画課		課長：佐々木 健			
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	持続可能な社会保障制度の確立を図るための 改革の推進に関する法律第4条第1項 医療法第30条の3の2			関係する計画、 通知等	-					
主要政策・施策	-			主要経費	社会保障					
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	より効果的で効率的な医療・介護サービスの構築に向けて、病院・病床機能の分化・強化、在宅医療の推進、医師・看護職員の確保対策、チーム医療の推進等を内容とする医療サービス提供体制の制度改革に取り組めるようにすることを目的とする。									
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	病床機能情報の報告制度創設に伴い、医療機関がその有する病床において担っている医療機能をはじめ、提供している医療の内容に関する情報を全国共通サーバーに提出することとなっている。事業者は提出されたデータの精査、また、未報告医療機関に対して督促を行う。その後、都道府県が地域医療構想を実現させるための分析に活用できるような形で集計後、都道府県へ情報提供する。また、27年度からは、都道府県が策定する地域医療構想の基礎データとして使用できるよう、分析可能な収集システムにする改修も行う。									
実施方法	委託・請負									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	41	71	66	66				
		補正予算	-	-	-					
		前年度から繰越し	-	-	-					
		翌年度へ繰越し	-	-	-					
		予備費等	39	-	-					
	計		80	71	66	66	0			
	執行額		54	68	65					
	執行率 (%)		68%	96%	98%					
当初予算+補正予算に対す る執行額の割合 (%)		132%	96%	98%						
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	保健福祉調査委託費		66							
	計		66	0						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 37 年度
	医療機関の期限までの報 告割合の向上		期限までの報告割合	成果実績	%	85	90	92	-	-
				目標値	%	85	90	95	-	100
				達成度	%	100	100	96.8	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)		病床機能報告制度(厚生労働省)								
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込
	報告用ツールの導入件数			活動実績	件	1	1	1	-	-
				当初見込み	件	1	1	1	1	-
単位当たり コスト	算出根拠				単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	
	X/Y X:「執行額」 Y:「報告用ツールの導入件数」			単位当たり コスト	円	54,000,000	67,500,000	65,805,000	65,805,000	
				計算式	X / Y	54,000,000/1	67,500,000/1	65,805,000/1	65,805,000/1	

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策	地域において必要な医療を提供できる体制を整備すること									
		施策	日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること(施策目標 I-1-1)									
		測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度		
				実績値	-	-	-	-	-	-		
				目標値	-	-	-	-	-	-		
		本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
		本事業を実施することにより、都道府県が策定している地域医療構想の実現に向け、必要なデータを都道府県に情報提供することができる。										
		アクション・プログラム	経済・財政再生	改革項目	分野:	-	-					
				(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
						成果実績	-	-	-	-	-	-
	目標値				-	-	-	-	-	-		
	達成度			%	-	-	-	-	-			
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)				単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
				成果実績	-	-	-	-	-	-		
				目標値	-	-	-	-	-	-		
	達成度			%	-	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												
-												

事業所管部局による点検・改善

			項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性			事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	当制度は将来に向けて必要な医療提供体制の構築に資するよう、医療法に定められた病床機能報告制度の遂行に係るものであり、社会のニーズに沿うものである、
			地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	当制度は医療法において、厚生労働大臣が委託する者が実施することとされており、国が実施すべき事業である。
			政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	当制度は医療法において、厚生労働大臣が委託する者が実施することとされており、国が実施すべき事業である。
事業の効率性			競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	一般競争総合評価落札方式にて実施したが、支出先の選定は妥当である。公告期間を伸ばす等の対応をしたが、1者応募となった。今後、さらなる工夫を実施したい。
			一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	
			競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
			受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
			単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	28年度は縮減されており、妥当である。
			資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
			費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業目的に照らし、必要なものに限定されている。
事業の有効性			成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果目標に見合ったものとなっている、
			事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
			活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	見込みにあったものとなっている。
			整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	全国の医療機関が、病床機能報告ツールを活用して報告をしている。
関連事業			関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-
	所管府省名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	医療機関の報告割合について、目標には達成しなかったが、前年度比で向上している。報告医療機関の負担軽減など、継続的に見直しの必要性を検討していくことが必要。			
	改善の方向性	現時点で、具体的な改善の必要性はないが、継続的に見直しの必要性について検討していく。			

外部有識者の所見

--	--

行政事業レビュー推進チームの所見

--	--

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

--	--

備考

--	--

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	新26-003	平成27年度	30	
平成28年度	29					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
(65百万円)

↓
【一般競争契約(総合評価)】

A. みずほ情報総研株式会社
65百万円

〔医療機関が自病院の情報を全国共通サーバーへ報告し、集計後都道府県へ報告する仕組みの構築〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

